

授業展開案 高等学校国語「国語総合」

1 テーマ

「羅生門事件」裁判

2 I C T 利活用のねらい

作品全体の読解終了後，発展的学習活動として模擬裁判を行う。それぞれの役においてきちんと根拠を挙げて下人の行動の是非を考えていく過程で I C T 機器を使用し，生徒の興味・関心を喚起するとともに異なる立場の意見を踏まえて言語活動を行う手助けとする。

3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

- ①機器：電子黒板，学習者用端末
②教材：「羅生門事件」裁判(Microsoft PowerPoint)

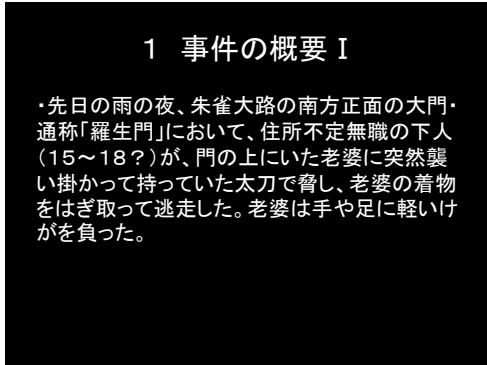
4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面
<p>「羅生門」の内容を復習する。</p> <p>模擬裁判において，自分の意見を学習者用端末に記述する。</p> <p>裁判を受けて，下人に判決を下す。</p>	<p>①説明の補助：「羅生門」の内容をまとめたものを表示する。</p> <div data-bbox="767 1021 1262 1391" style="background-color: black; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> <p>1 事件の概要 I</p> <p>・先日の雨の夜、朱雀大路の南方面の大門・通称「羅生門」において、住所不定無職の下人（15～18？）が、門の上にいる老婆に突然襲い掛かって持っていた太刀で脅し、老婆の着物をはぎ取って逃走した。老婆は手や足に軽いけがを負った。</p> </div> <p>②表現活動：検察側，弁護側に分かれた生徒たちに，それぞれ下人の有罪理由，無罪理由を学習者用端末に記述させる。</p>

5 ICT利活用のポイント

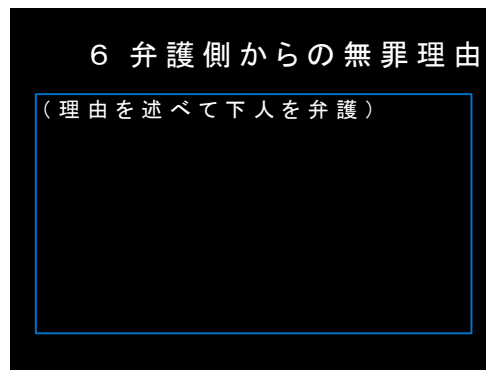
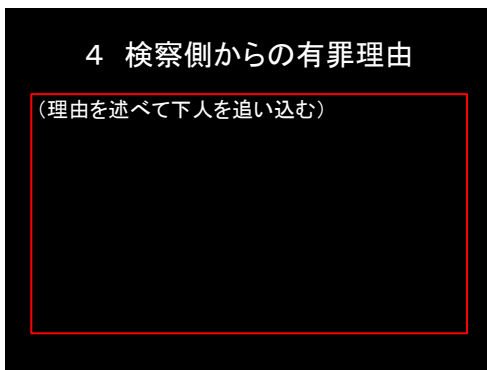
①説明の補助

「羅生門」のあらすじを新聞記事風にまとめたものを表示して、小説の内容を復習させる。
また、小説中に出てきた「聖柄の太刀」の画像を見せたり、「檜皮色」の色目を表示したりして、生徒の興味・関心を喚起する。



②表現活動

検察側、弁護側に分かれた生徒たちに、それぞれ下人の有罪理由、無罪理由を学習者用端末に記述させる。



裁判を受けて、電子黒板に判決を表示する。

